Child Family Consultant

ベーシックコース 第1回後半

NPO法人
子育て学協会

2016/4/1　作成

無断複製禁止　子育て学協会

イントロダクション

CFCを学ぶルール

1. 必ず事前資料には目を通し、課題を行った上で参加する

2. 主体的に行動し、積極的に関わる態度を忘れない

3. 参加者がお互いに学ぶ姿勢を持っていることを尊ぶ

4. 時間を守る

無断複製禁止　子育て学協会

イントロダクション

講座の中の共有・議論への取り組み方

＜話す＞
・限られた時間の中で、自分が話す配分を心がける
・話したくないことは無理に話さないで良い

＜聞く＞
・話をさえぎって途中で口を挟まず、最後まで聞く
・相手が気持ちよく話せるような聞き方を心がける
・違う意見や違う視点、他の人の意見を一つの意見として肯定的に受け止める

無断複製禁止　子育て学協会

イントロダクション

本日のスライドは事前共有しております。
必要に応じて、ご自身でダウンロードや
印刷をお願いいたします。
当日テキストに自身で「ポイントと思うこと」
「気づき」などを積極的にメモを取ってください。

無断複製禁止　子育て学協会

本日のアジェンダ

第1回前半

1. CFC概論
2. こころのこと①、②
3. かぞくのこと
4. 現代子育てのこと

まとめ・事後課題・アンケート

休憩を50分～1時間に1回予定しています。

休憩に入るタイミングで次の開始時間をお伝えします。

無断複製禁止　子育て学協会

2. こころのこと②

履修ゴール

CFCのベースとなる発達心理学を理解する

▶なぜ発達心理学を学ぶ必要があるのか？

人の成長を支援するためには、目に見えることに留まらず、
目に見えないことについても本質的に理解しておく必要がある

各発達心理学者の理論のポイントを知る

青年心理学と乳幼児の繋がりを知る

無断複製禁止　子育て学協会

2. こころのこと②

2-6.　各発達心理学者についての解説

- フロイト：精神分析的発達理論

ヒステリーの研究

無意識

エデュプス・コンプレックス

無断複製禁止　子育て学協会

2. こころのこと②

2-6.　各発達心理学者についての解説

●フロイト：精神分析的発達理論

子育て・子育て支援に活かせるポイント

・子どもの不都合に見える行動も大人を困らせようとしていることではなく無意識に興味を持ったことをしていると理解する。

・強く叱ったりせずに、“○○したかったんだね、でも今は△△で遊ぼうか”など、気持ちを受け止める

・大人も無意識にストレスが溜まっている時に、人に必要以上に強く言ってしまうことがある。

・子どもがいけないことをした時に、“そういうことをしたらあぶないよ！”と言えばいいところを、“そんなことしてたら怪我しちゃうよ、言うことを聞かない子は知りません、怪我して救急車で運ばれちゃいなさい”など余計なことを言い過ぎるときが人にはある

2. こころのこと②

2-6.　各発達心理学者についての解説

●フロイト：精神分析的発達理論

●子育てに活かすポイント

ヒステリー＝小さい時に抑圧されることが原因となる
エデュプスコンプレックス＝同姓の親にライバル意識を持つ時期がある、子どもの行動分析に活かしたい

親としてはそういう行動をしても強く反応しないこと

無断複製禁止　子育て学協会

2. こころのこと②

2-6.　各発達心理学者についての解説

- ピアジェ：自主的認識論や発達論

保存の概念

コンピテンス

鈴を鳴らす

鈴の音を聞く

コンピテンスが高まる

周囲の人に褒められる

心地よさの体験

快動

心地よさを求めて繰り返し音を鳴らすようになる

無断複製禁止　子育て学協会

2. こころのこと②

2-6.　各発達心理学者についての解説

- ピアジェ：自主的認識論や発達論

年齢	段階		動き（手・指の動き）
～1ヶ月頃	感覚運動期	第1期	おっぱいの吸い方が上達するなど、原始反射を駆使して環境に適応していく
1～4ヶ月頃		第2期	見る、つかむ、吸うなど単純な動作ができる。行為そのものを楽しみ、同じことを繰り返す（循環反応）
4～8ヶ月頃		第3期	目と手の反応が成立。行為による結果に関心を示し、行動を繰り返す（第2次循環反応）
8～12ヶ月頃		第4期	布を取り除いてその下にあるおもちゃを取るなど、目的を達成するために手段を選ぶ
12～18ヶ月頃		第5期	目的を達成するために手段を試行錯誤し、新しい手法や方法を発見する（第3次循環反応）
18～24ヶ月頃		第6期	表象が発達する。頭の中で行動を考え、より適した行動を選ぶことができる

2. こころのこと②

2-6.　各発達心理学者についての解説

- ピアジェ：自主的認識論や発達論

年齢	段階	動き（特徴）
2～7,8歳	前操作期	・ごっこ遊びが見られる⇒イメージによる思考ができる時期 ・物事に対してはっきりした概念が成立していない （例：4本足の動物を「ワンワン」と呼ぶなど） ・**イメージと言語を併用して思考する** ・概念が安定し、一般的な概念に近づく時期 ・論理的な思考ができず、直観的な判断をする⇒「保存」の概念ができていない
7,8 ～11,12歳	具体的 操作期	・論理的思考が成立する時期 ・抽象的な概念については論理的思考ができない
11,12 ～14,15歳	形式的 操作期	・成人と同じような論理的思考ができるようになる時期 ・抽象的な概念、架空の事象についても論理的思考ができる

無断複製禁止　子育て学協会

2. こころのこと②

2-6.　各発達心理学者についての解説

- ピアジェ：自主的認識論や発達論

【ワーク】
子育て・子育て支援に活かせるポイントを
共有してください。

無断複製禁止　子育て学協会

2. こころのこと②

2-6.　各発達心理学者についての解説

- ピアジェ：自主的認識論や発達論

●子育てに活かすポイント

親としては、
認知の発達の妨げになるので、コンピテンスを奪わないこと

※コンピテンス
潜在的に持つ深層言語や、環境に働きかけ自分の有能さを
追及しようとする動機づけなどと一体化したもの。
例)意欲や興味、コミュニケーション

無断複製禁止　子育て学協会

2. こころのこと②

2-6.　各発達心理学者についての解説

- ボウルビィ：対人能力の基礎となる愛着行動（アタッチメント）

第1段階【～生後12週】 初期の愛着段階	動いている人、話している人をだれかれとなく見る 近くにいる人に手を伸ばしたり、微笑したり、「ウー、ウー」と話しかける。母親と他人の区別ができていない
第2段階【生後12週～6か月】 愛着形成段階	母親があやすほうが機嫌がいい 母親と他人と両方がいるときは、母親をよく見る 母親と他人の区別ができるようになる
第3段階【6か月～2、3歳】 明確な愛着段階	母親がそばを離れようとすると泣き叫んだり、後を追う 泣いていても、母親が抱き上げると泣き止む 母親への明確な愛着を形成、愛着の対象が、兄弟へも広がる
第4段階【2、3歳から】 目的修正的協調関係	母親と少し離れても安心して過ごせる 認知能力が発達し、母親の感情や行動目的を推測できるようになる

無断複製禁止　子育て学協会

2. こころのこと②

2-6.　各発達心理学者についての解説

- ボウルビィ：対人能力の基礎となる愛着行動（アタッチメント）

【ワーク】
子育て・子育て支援に活かせるポイントを
共有してください。

無断複製禁止　子育て学協会

2. こころのこと②

2-6.　各発達心理学者についての解説

- ボウルビィ：対人能力の基礎となる愛着行動（アタッチメント）

●子育てに活かすポイント

愛着が人格形成に影響することを理解しコミュニケーションする
・顔＝笑顔
・目＝視線を合わせる
・耳＝最後まで聞く
・鼻＝いつもと違う動きに敏感になる
・口＝ゆっくり話す
・手＝体を触る
・腹＝受け止める
・足＝マネ（同じ行動）をする

無断複製禁止　子育て学協会

2. こころのこと②

2-7.　マズローの欲求階層説について

愛する能力を持つ

ありのままの自己、
確たるアイデンティティ、
自主性、独自性をもつ

自己の客観性、
離れた立場に立って
自己を超越できる

マズローの5段階説

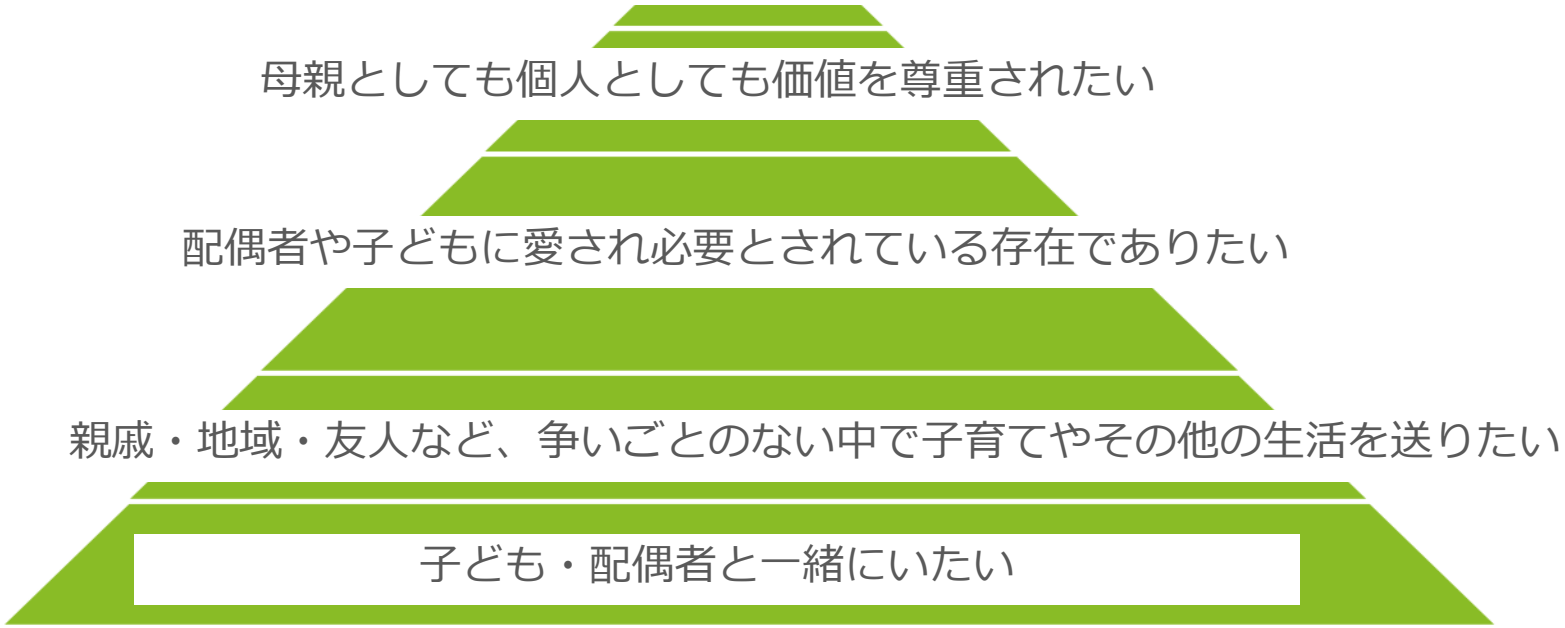
無断複製禁止　子育て学協会

2. こころのこと②

2-7.　マズローの欲求階層説について

- 母親の欲求段階（山本イメージ）

私らしく
子育てし
たい



無断複製禁止　子育て学協会

2. こころのこと②

2-8.青年期と幼児期の関係性＜反抗期＞

第一次反抗期（2歳半前後）

○自我の芽生え
親の意向をスムーズに受け入れていたように見えた子どもが、この時期になると、自分の考えと欲求の表現が言語的にも行動的にも豊かになる。そのために、親の意向に対する子どもからの対案も多くなり、親にとっては聞き分けなく映るようになる時期である。

○自己の主張
親にとってはできるだけ諭す方がいいのであるが、なかなかしづらいところである。親からすれば反抗と映り、子にすれば自己の主張がなかなか通らないという思いが高じて葛藤が生じることになる。

第二次反抗期（14～17歳）

○巣立ち準備
一個の大人として親から独立して生活して行くためには自分を操縦して行かねばならず、そのためには自分を外側から見て、自分がどういう人間であるのかが分かっていなければならない。家以外の人との付き合いを重視するようになり、家に寄り付かなくなる。

○自我の探求
自分を探し自分を見つけ出すためには自分を見つめ、自分を語ること、つまり自問自答が必要になるが、思春期にあっては自我が急速に豊かに伸びるため言語が追いついていない状態になっている。進路選択などと重なり、重要な時期にあまり話さなくなることで親が不安になる。

無断複製禁止　子育て学協会

（休憩１０分）

無断複製禁止　子育て学協会

2. こころのこと②

2-9.　幼児期の問題行動とその背景

「問題行動例2件の子どもの背景について、赤字の2択の中からあてはまると思われる方に○をつけてください。またそう考えられる理由について記述してください。

- 個人：5分

無断複製禁止　子育て学協会

2. こころのこと②

2-9.　幼児期の問題行動とその背景＜解説＞

個人名	子どもの状態	背景
① R子 ちゃん	4歳児のR子ちゃんは、一人で遊ぶことが目立っている。たまに一緒に遊んでいても、ちょっとした理由から厳しく友達を注意し、時には手が出てしまう。結果、友達とのコミュニケーションがうまくいかず「こわい」と言われてしまっている。本人もそれを聞いており傷ついてはいるが、どうしても「出来ていないこと」に対して指摘ばかりしてしまう。R子ちゃんは、日ごろから保育士にスキンシップを求めたり会話を進んでしてくることはなく、自分のことは自分でやろうとする姿が目立っている。	R子ちゃんの家族構成は、父、母、**（姉／弟）**。 **（姉／弟）**は、自由な性格である。 父は病気を患っており、入退院を繰り返している。 母は**（完ぺき主義／放任主義）**で、仕事は**（忙しい／休職中）**。 母親は、保育者に対して**（相談する／気丈に振舞う）**ことが多い。

無断複製禁止　子育て学協会

2. こころのこと②

2-9.　幼児期の問題行動とその背景＜解説＞

個人名	子どもの状態	背景
② K君	3歳のK君は、集まりの際も着席し続けることが難しく、すぐに立ち歩こうとする。自由遊びでは、いくつもの遊びを少しやっては移動している。長時間集中することが困難なようである。また、うまくいかないとかんしゃくを起こし大声で怒鳴ったり激しくすねてみせたりする。 他児の使用しているものも了解を得ずに使おうとするので、1日中トラブルが耐えない。	K君の家族構成は、父、母、**（祖母／弟）**。 母は、お迎えに来ると**（すぐに帰ろうと促す／いつまでも遊びが終わるのを待っている）**。 家での遊びとしては、かなりの頻度で**（ビデオ鑑賞／楽器遊び）**をしているようだ。 母は、K君に対して手を焼いており保育者に対して**（相談する／気丈に振舞う）**ことが多い。

無断複製禁止　子育て学協会

3. かぞくのこと

履修ゴール

自己形成の基盤を作る上で、社会の最少単位である
家族と子育ての関係を理解する

家族の成長課題を知る

乳幼児期の子どもの健全な成長に影響する
家庭教育について知る

無断複製禁止　子育て学協会

3．かぞくのこと

3-1.　ライフサイクルについて

第１期：結婚から第1子の誕生まで

新しい生活に意欲的　違いを受容していく　共に生活をしていく厳しさ

第２期：第1子の誕生からその子が学齢に達するまで

家族が増える喜び　生活形態の見直し　自律＝体と心のコントロール（しつけ）

第３期：第1子が学童期を迎えてからその子が思春期になるまで

子どもの成長　コミュニケーションの欠如　生産的な活動への興味・社会参加

第４期：第1子が思春期に達してから、その子が社会的に独立するまで

親自身の時間が増える　親への反抗　親子の巣立ちの準備　自己の確立

第５期：子どもが独立してから夫婦の一方がかけるまで

夫婦の時間　老化への不安

無断複製禁止　子育て学協会

3. かぞくのこと

3-1.　ライフサイクルについて

　第2期における「父親・母親にありがちな葛藤」について考えてみましょう。

第２期：第1子の誕生からその子が学齢に達するまで

- 各自思いつくものを考えてみてください。
- グループ：3分

無断複製禁止　子育て学協会

3. かぞくのこと

3-2.　家族関係で大切にしたい課題について

- 親になるということ
- 信頼感を育てるということ
- 自律心を育てるということ

親にとっても自分自身を再度成長させる
「アイデンティティ獲得」の機会

無断複製禁止　子育て学協会

3. かぞくのこと

3-3.　アダルトチルドレンについて

「安全な場所」として機能してしない家族の中で育った子

- 周囲が期待しているように振る舞おうとする
- NOが言えない
- 楽しめない
- ふりをする

生きづらさがある

無断複製禁止　子育て学協会

3. かぞくのこと

3-4.　家庭教育について

家庭教育は、すべての教育の出発点

家族のふれ合いを通して、子どもが、基本的な生活習慣や生活能力、人に対する信頼感、豊かな情操、他人に対する思いやり、基本的倫理観、自尊心や自律心、社会的なマナーなどを身につけていく上で重要な役割。

生活の場で（ある家庭で）の「しつけ」が重要である

- 直接的「しつけ」＝大人のかかわり方で身につけていくもの
- 間接的「しつけ」＝日常の中で大人（親）の態度や行動を子どもが見ながら自然に身につけていくもの

無断複製禁止　子育て学協会

（休憩５分）

無断複製禁止　子育て学協会

4．現代子育てのこと

履修ゴール

現代の子どもを取り巻く環境を知り、
視野を広げ、つながりを理解する

社会で起きている事象を知る

子どもを取り巻く教育環境を知る

無断複製禁止　子育て学協会

４. 現代子育てのこと

4-1.　事前課題④についてのディスカッション

「待機児童問題、ネグレクト、児童虐待、シングルマザー、オルタナティブ教育」の中から、どれか１テーマについて、自由にまとめてください。

- 上記についての各自回答を共有し、議論してください。
- グループ：５分

無断複製禁止　子育て学協会

4. 現代子育てのこと

4-1.　事前課題④についてのディスカッション：解説

子育てに対する視野を広げることの大切さ

無断複製禁止　子育て学協会

4．現代子育てのこと

4-2.　待機児童問題について

- 待機児童とは

保育所に入所申請をしているのにも関わらず満員である等の理由で
保育所に入所できない状態にある児童

- 主な原因

不景気・女性の社会進出による共働きの増加。（都心部に集中）

一方、少子化が進行し、合併・閉鎖する園が相次ぐ。（地方の状況）

無断複製禁止　子育て学協会

4．現代子育てのこと

4-2.　　待機児童問題について

R2年4月 12,439名

R3年4月　5,634名

R4年4月　2,944名

待機児童数トップ3 (R4.4)

1位：沖縄　439名　　2位：兵庫　311名　　3位　東京　300名

待機児童数０名
青森、山形、新潟、富山、石川、福井、山梨、岐阜、鳥取、島根
徳島、長崎、大分、宮崎

（R4.4厚生労働省調査より）

無断複製禁止　子育て学協会

4．現代子育てのこと

4-3.　ネグレクトについて

- ネグレクトとは

健康状態を損なうほどの不適切な養育、または子どもに対する
重大な不注意を犯すこと。

- ネグレクトの種類

・衣食住の身体ケアを与えない（栄養ネグレクト・衣服ネグレクト・衛生ネグレクト）
・**発達に必要な情緒的ケアを与えない（情緒ネグレクト・愛情剥奪症候群）**
・子どもの安全を守るために必要な監視を怠る（環境ネグレクト）
・**必要な医療や乳児検診・予防接種を受診しない（保険ネグレクト・医療ネグレクト）**
・必要な教育を受けさせない（教育ネグレクト）
・その他、捨て子、親子心中

・消極的ネグレクト・・・親に何らかの理由があり、十分な育児が出来ない
（貧困状態・精神疾患・知的障害等）
・積極的ネグレクト・・・親に事情がないのに育児をしない

無断複製禁止　子育て学協会

4．現代子育てのこと

4-4.　児童虐待について

- 虐待とは

立場の弱い者に対して酷い取り扱いをすること

児童相談所の対応件数	R3年度	207,659件
	（R2年度	205,044件）

- 児童虐待の種類

身体的虐待・・・殴る・蹴る・火傷・首を絞める・戸外に締め出す等
性的虐待・・・・性的な行為の強制等
心理的虐待・・・大声・脅し・無視・暴言・子どもがDVを目撃等
ネグレクト・・・養育・保護の放棄等

判断基準）子どもも親も自分からは話さない。泣き声・身体のケガ・清潔・食事の仕方などの様子で判断する。

対応）児童相談所・福祉事務局・市町村の担当窓口
※早期発見が解決に繋がる。

4．現代子育てのこと

4-5.　オルタナティブ教育について

- オルタナティブ教育とは

「非伝統的な教育」「教育選択肢」と訳され、
主流または伝統とは異なる学習方法を意味する

無断複製禁止　子育て学協会

4．現代子育てのこと

4-5.　オルタナティブ教育について

- モンテッソーリ教育・・・イタリア

感覚教育

＊敏感期（発達段階に合わせた習得）

＊教具（形・大きさ・手触り）

＊体感覚のある形容詞

＊自発性を大切にする

＊子どもサイズ

＊「一人できる」ということ

無断複製禁止　子育て学協会

4．現代子育てのこと

4-5.　オルタナティブ教育について

- シュタイナー教育・・・ドイツ

＊人間の成長を７年ごとの周期で考える

第1期０～7歳・・エーテル体（魂と身体）・・・生活リズム・関わる大人

第2期7～14歳・・アストラル体（感情と印象）・・・芸術

第3期14～21歳・・自我・・・表象・・・イメージを描く

＊４つの気質子どもの気質を四体液説で見る胆汁質、多血質、粘液質、憂鬱質

＊素話、顔のない人形

無断複製禁止　子育て学協会

4．現代子育てのこと

4-5.　オルタナティブ教育について

- 森のようちえん・・・デンマーク

＊異年齢
＊園舎を持たない幼稚園
＊子どもの力を信じる
＊自然体験の重視
＊遊びを通して学ぶ
＊自分たちで考える

無断複製禁止　子育て学協会

4．現代子育てのこと

4-5.　オルタナティブ教育について

- その他の教育について

・フレネ教育（フランス）・・・対話・自由作文
・サドベリー・スクール（アメリカ）・・・スクールミーティング・選択の自由
・フレーベル（ドイツ）・・・恩物・歌あそび・丸い庭

- フリースクールの必要性

・不登校
・自分の道を目指す子どもたち（芸能活動やゴルフなどスポーツ）
・Net高校

無断複製禁止　子育て学協会

４．現代子育てのこと

4-6.　これからの教育について

- これから求められる人材について

ＯＥＣＤ（経済協力開発機構）より

『読解力』

①論理的に思考して表現する力
②人間関係を豊かにする力
③イメージや感性を豊かにする力
④実践や行動につなげる力
⑤自分を励まし創る力
⑥自分とその違いを評価する力

無断複製禁止　子育て学協会

4．現代子育てのこと

4-6.　これからの教育について

- バカロレア教育について

「国際的な視野をもつとはどういうことか」？
具体的には、IB認定校が価値を置く人間性とは・・・

・探究する人
・考える人
・信念をもつ人
・思いやりのある人
・バランスのとれた人
・知識のある人
・コミュニケーションができる人
・心を開く人
・挑戦する人
・振り返りができる人

無断複製禁止　子育て学協会

本日のアジェンダ

第1回前半

1. CFC概論
2. こころのこと①、②
3. かぞくのこと
4. 現代子育てのこと

まとめ・事後課題・アンケート

無断複製禁止　子育て学協会

＜振り返り①＞　本日のまとめ

本日のキーワード

- CFCにとって大切なこととは？

1.　CFC概論	視点を変えてみること
2.　こころのこと	CFCのベースとなる発達心理学を理解する
3.　かぞくのこと	家族と子育ての関係を理解する
4.現代子育てのこと	子どもを取り巻く環境を知り、視野を広げ、つながりを理解する

無断複製禁止　子育て学協会

＜振り返り②＞　事後課題

事後課題①

学んだことを踏まえて、自身の周りの子どもと大人を観察し

- 「子どもについて」・・子どもの好きなこと、よくする行動
- 「親の葛藤について」・・子育ての喜び、不安

にどのようなものがあるかを考察してください。

※可能であれば親にはインンタビューしていただき内容をもとに本日学んだ発達心理学と合わせて「気づき・感想」をレポートにまとめてください。

無断複製禁止　子育て学協会

＜振り返り②＞　事後課題

事後課題②

親子観察

子ども（未就学児）に対して母親がどんな言葉かけや行動をしているか観察する。

※リアルな子育てでどのような行動や言葉かけが多く行われているかを観察し、「気づき・感想」をレポートにまとめてください。

無断複製禁止　子育て学協会

- 次回は　　１２／６　（水）です
- またお会いできるのを楽しみにしております

無断複製禁止　子育て学協会

アンケートのご記入をお願いします

CFCベーシックアンケート

＊提出方法＊
・スクショ写真
・PDF化したもの
→メールに添付

本日の課題をメールでご提出ください

●To：info@kosodategaku.jp

無断複製禁止　子育て学協会